



2023.4.28 fri  
at NAKANO ZERO

# TOKYO KOSEI WIND ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERT  
2023-2024

#161

**Kanade Yokoyama**  
Conductor

## PROGRAM | プログラム

### 幻想 / A. コスミック

Fantasmagorie / Alexandre Kosmicki

[約15分]

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 第1楽章 アンダンテ     | I. Andante         |
| 第2楽章 プレスト・イロニコ | II. Presto ironico |

### プスタ / J. ヴァンデルロースト

Pusztá / Jan Van der Roost

[約12分]

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 第1楽章 アンダンテ・モデラート  | I. Andante Moderato |
| 第2楽章 トランクイロ(穏やかに) | II. Tranquillo      |
| 第3楽章 アレグロ・モルト     | III. Allegro Molto  |
| 第4楽章 マルカート(はっきりと) | IV. Marcato         |

### ブリュッセル・レクイエム / B. アッペルモント

A Brussels Requiem / Bert Appermont

- |                |  |        |
|----------------|--|--------|
| 第1楽章 イノセンス(無垢) | I. Innocence                           | [約16分] |
| 第2楽章 冷血に       | II. In Cold Blood                      |        |
| 第3楽章 追悼～我ら甦らん  | III. In Memoriam – We Shall Rise Again |        |
| 第4楽章 新たな日      | IV. A New Day                          |        |

休憩 Intermission [20分]

### 交響曲第6番「コッツウォルド・シンフォニー」 / D. ブルジョフ

Symphony No.6 "A Cotswold Symphony" / Derek Bourgeois

[約30分]

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 第1楽章 パストラール: 夜明け: グロスター 渓谷の霧が晴れる | I. Pastoral: Dawn: Mists rise over the Vale of Gloucester |
| 第2楽章 メイポール                       | II. Maypole   |
| 第3楽章 ローマ軍の行進                     | III. The Iron March of Rome                               |
| 第4楽章 教会の鐘                        | IV. Church Bells: "As sure as God's in Gloucestershire"   |
| 第5楽章 古い町: グロスター                  | V. The Old City: Gloucester                               |
| 第6楽章 終章: パストラール                  | VI. Epilogue: Pastoral                                    |

#### 1 注意

- ・本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合があります、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承ください。
- ・ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- ・携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- ・演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士の会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご注意ください。

## PROFILE | 指揮者プロフィール



横山 奏

Kanade Yokoyama

Conductor

©平沼平

1984年札幌市生まれ。北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コースを卒業後、桐朋学園にて学び、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。指揮をダグラス・ポストック、尾高忠明、高関健、中村隆夫、黒岩英臣の各氏に師事。打楽器を真貝裕司氏に、声楽を桑野敏明、雨貝尚子の各氏に師事。2017年WMCKerkrade指揮者コンクール第3位。2018年第18回東京国際音楽コンクール第2位 & 聴衆賞を受賞。これまでに札幌、仙台フィル、山響、都響、読響、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京シティフィル、東京佼成ウインド、千葉響、名古屋フィル、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、大響、オオサカ・シオン、広響、九響などと共演を重ねている。2015-2017年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員。2019年北海道二期会創立55周年記念「レオンカヴァッロ：道化師」を、2021年田尾下哲演出「バーンスタイン：キャンディード」を指揮し大成功に導いている。

東京佼成ウインドオーケストラでは、政府・各自治体およびホールの方針に基づき、最大限の感染予防と拡大防止のための対策を実施した上で、本公演を開催いたします。詳細につきましては、当団オフィシャルサイト掲載の《【重要】感染症予防対策についての取り組みとお願い》をご覧ください。

本公演に関するアンケートへご協力ください。



# PROGRAM NOTES | 曲目解説—富樫鉄火(音楽ライター)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

## A. コスミック作曲 幻想

日本では、この邦題で出版されているが、原題“Fantasmagorie”とは、18～19世紀にフランスやイギリスで大流行した見世物の名称でもある。幻灯機で亡霊や骸骨などを映写して見せるショーで、サーカス小屋や遊園地で興行されたようだ(1908年にフランスで公開された、約1分半、最初期アニメーションの題名としても有名)。よってヨーロッパの人々にとって“Fantasmagorie”には、見世物小屋で走馬灯のように次々と映写される珍しいものを見るようなイメージがある(フェリーニの映画が、まさに“Fantasmagorie”そのものだった)。本曲にも、どこかそんな雰囲気がある。

全体は2部構成。

第1部は、Andanteで厳かにはじまる。すぐにユーフォニアムやトランペット、クラリネットなどのソロが次々に登場するが、実は本曲は、多くがソロの饗宴。特にB♭クラリネットはI・IIのみだが、それぞれにソロが独立パートとして書かれている。トランペットもI～IVが設定されており、ソロが多い。やがて次々と“幻影”が現われては消えて行き、次第にテンポを速め、壮大な曲想となって、沈静化する。

アツカ(休みなし)でつづく第2部は、Presto ironico(皮肉っぽく急速に)でにぎやかにはじまる。どこか道化師のパレードを思わせる。三連符を基調に、小節ごとに拍子が変わる複雑な動きを経て(途中、「8分の10拍子」が登場する)、テンポ・アップし、サーカスの曲芸のような超絶技巧を披露しながら、見事なクライマックスを爆発させる。

アレクサンドル・コスミック(1978～)は、フランスの作曲家・指揮者。本来はクラリネット専攻だったが、パリ国立高等音楽院で作曲や指揮を学び、活動の幅を広げた。その後、ギャルド・レビュプリケヌ吹奏楽団の首席指揮者・作曲家のロジェ・ブトリー(1932～2019)に師事したことで、吹奏楽の世界に進出することとなった。日本で知られる吹奏楽作品には、《悪魔のダンス》《サーカズム～Esクラリネットとバンドのための》《薄明の輝き》などがある。

なお、本日の《幻想》は、演奏グレードが「6」の超難曲である。コンクールでも時折演奏されているようだが、さすがに本曲で全国大会まで進出できた団体は、まだない。本来なら大トリで演奏されてもおかしくない曲を、いきなり冒頭で演奏してしまうところに、本日の演奏会にかけた、横山奏とTKWOの意気込みが感じられる。

## J. ヴァンデルロースト作曲 プスタ

日本でも大人気の作曲家、ヤン・ヴァンデルローストが1987年に発表した組曲。副題に「4つのロマ舞曲」と付いている。原曲は、室内アンサンブル曲で、好評につき吹奏楽版に拡大された。このほか、クラリネット合奏版もある。

曲名の「プスタ」とはハンガリー平原のこと。この一帯で放浪生活をおくるロマ民族(旧名ジプシー)の舞曲を素材にしている。ヴァンデルローストの母国ベルギーはヨーロッパの中央に位置し、交通や流通の要である。そのため、むかしから移民や異民族の流入が多く、作曲家自身、ロマのエキゾチックなダンスや音楽を身近に感じていた。そ

んな思い出が、本曲に結実したという。

全体は4曲構成。テンポやメロディが次々と変化し、一瞬たりと飽きさせない。また、「舞曲」だけに打楽器も重要で、特にタンバリンが大活躍することでも知られている。

### I. Andante Moderato

原曲の時点では存在しておらず、吹奏楽版で新たに加筆された部分。哀愁に満ちた曲想で、じっくりとはじまる。イメージ源泉は、ハンガリーの酒場の音楽“チャルダッシュ”。緩急を繰り返しながら次第にテンポ・アップする饗宴の音楽となる。

### II. Tranquillo(穏やかに)

木管群を中心に、子守歌のような美しい旋律が奏でられる。

### III. Allegro Molto

クラリネット・ソロが、チャルダッシュ風のカデンツァを奏でてはじまる。やがて快速テンポとなり、緩急が入り乱れて、またも饗宴を思わせる曲想となる。次の楽章とともに、ヴァンデルローストの見事なオーケストレーションを堪能できる部分である。

### IV. Marcato(はっきりと)

リスト《ハンガリー狂詩曲》がヒントになった楽章。やはりチャルダッシュを基本に、ここでも緩急が交錯し、次第に高揚していく。クライマックスでは息をもつかせずにアクセル全開でコーダへなだれ込む。

ヤン・ヴァンデルロースト(1956～)は、ベルギーの作曲家。レメンス音楽院ほかで、トロンボーン、作曲、指揮を学んだ。現在、日本はもとより、世界でもっとも人気のある作曲家のひとりで、膨大な数の吹奏楽曲、ブラスバンド曲を発表している。TKWOも定期では過去に《感傷的3章～バス・クラリネットとバンドのための》、コンサート・マーチ《アルセナル》、交響詩《スパルタクス》などをとりあげている。

なお日本では、本曲が、数多いヴァンデルロースト作品のなかでも突出した人気を誇っており、コンクール全体(県・支部・全国大会)で累計1000回以上の登場を数えている。

## B. アッペルモント作曲 ブリュッセル・レクイエム

2016年3月22日、ベルギーの首都ブリュッセルで、イスラム過激派による連続爆破テロ事件が発生した。ブリュッセル空港と地下鉄駅(EU本部そば)で発砲・爆発が相次ぎ、自爆した犯人3人を含む35名が死亡、負傷者は200名以上におよんだ。前曲の項で述べたように、ベルギーはヨーロッパにおける空路・鉄道の交錯ポイントであり、特にブリュッセルには多くの国際機関本部が集中している。また、移民が多く、犯人は、それらを見込んで市内に紛れ込み犯行におよんだのだ。

本曲は、この事件に衝撃を受けた同国の作曲家、ベルト・アッペルモントによって作曲された。原曲はブラスバンド曲で、2017年4月にベルギーで開催された欧州ブラスバンド選手権大会において、オーストリアのブラスバンド・オーバーウステライヒが初演した。その後、吹奏楽版に改訂されたのが、本曲。

曲は、事件そのものを描写することよりも、この事件から感じられた内心の思いが音楽化されている。全体は〈イノセンス(無垢)〉〈冷血に〉〈追悼～我ら甦らん〉〈新たな日〉と名付けられた4部構成だが、切れ目なくつづけて演

奏される。

全体にフランス民謡の子守歌《月の光に》の断片旋律がちりばめられている。サンサーンス《動物の謝肉祭》～(化石)などに使われた有名旋律だ。

冒頭は木管群のやさしい掛け合いではじまり、やがてホルンを中心に、《月の光に》が静かに奏でられるが、すぐにトランペットの不安なスタッカートで静謐は破られる。以後は迫真の音楽で一気に呵成に悲劇に向かって突き進む。後半ではトランペットがふたたび《月の光に》を奏で、かつて破られた平和がふたたび訪れ、明日への希望をあきらめずに求めていく精神が、壮大な響きとなって奏でられる。ウクライナ侵攻などの紛争がつづくいまこそ、あらためて耳を傾けたい音楽である。

ベルト・アッペルモント(1973～)はベルギーの人気作曲家。レメンズ音楽院で前曲のヴァンデルローストに学んだ。ドラマティックな曲想を描かせては右に出るものはなく、《ノア方舟》《ガリヴァー旅行記》《ジェリコ》《アイヴァンホー》、交響曲第1番《ギルガメシュ》など、人気作品の多くが文学や伝承を題材にした曲である。

なお本曲は、2018年度の全日本吹奏楽コンクールで全国大会初演した3団体がそろって金賞を受賞したせいもあり、一気に注目を集めた。翌2019年度には全国大会だけで12団体もが演奏する人気曲となっている。だが、コンクールでは演奏時間の規定があるので、すべて抜粋演奏である。いうまでもなく、本日はノー・カット、完全版の演奏。アッペルモントの壮麗な響きと平和への願いを、じっくりとお聴きいただきたい。

## D.ブルジョワ作曲

# 交響曲第6番《コッツウォルド・シンフォニー》

原曲は1988年に作曲された管弦楽曲(作品109)。のちに作曲者自身によって吹奏楽版に改訂されたのが本曲(作品109b)。

原曲はイングランド南西部にあるグロスターシャー州ストラウドで開催される音楽フェスティバルのために委嘱された(この地は古くから芸術文化の催しが盛んな土地)。ここを中心に、近隣の州もふくめたイングランド中央部には、豊かな自然で知られる広大な「コッツウォルド」(羊の丘)丘陵地帯が広がっている。「ピーター・ラビット」の作者ビアトリクス・ポターが住んだエリアとしても有名だ。イギリスでもっとも長い河川「セヴァーン川」(全長354km)も流れている。

この地の自然を題材にしたのが本曲。よほどこの地は作曲家の創作意欲をかきたてるようで、ほかにもホルストが交響曲《コッツウォルズ丘陵》(1900年)を、エルガーがブラズバンド曲《セヴァーン川組曲》(1930年、全英ブラズバンド選手権課題曲)を書いている。

全体は6部構成だがスコア上に切れ目はなく、つづけて演奏される。また、各部ごとに副題が付いており、作曲者自身が(コメント)を寄せている。

### I. パストラール(田園)：夜明け：グロスター渓谷の霧が晴れる

グロスターは、グロスターシャー州の州都。古代ローマ帝国時代に占領されていた古都で、さまざまな歴史事件の舞台となってきた。近年では、グロスター大聖堂が映画「ハリー・ポッター」シリーズの hogwarts魔法学校のロケに使用されて一躍有名になった。

曲は(霧に覆われたグロスター渓谷)を描いており、ハーブを伴う(不協和音からはじまり、次第に二長調の主題があらわれる。この主題は全編に何度かあらわれる)。田園地帯の夜明けを描いている。

### II. メイポール

ヨーロッパの五月祭や、北欧の夏至祭では、白樺の柱「メイポール」を中心に舞うダンスが盛んである。柱につながったリボンを手に、踊りながら編み上げてゆく。コッツウォルドでは古くから、原型のような形で「モーリス・ダンス」として伝わっていた。ホルストの《吹奏楽のための第2組曲》第1楽章にもこの「モーリス・ダンス」が登場する。

曲はリズムカルにはじまり、壮大な音楽になるが、(突如、不愉快な響きに変化してやかましくなり、次の楽章へとつづく)。

### III. ローマ軍の行進

この一帯は古代ローマ帝国の占領時代、同軍の駐屯地が設営された関係で、当時の遺跡が多く残っている。そんな古代の幻想を描く楽章。レスピーギ《ローマの松》～(アッピア街道の松)とおなじ題材だが、壮大華麗なレスピーギに対して、こちらは(田園風景を踏みしめて行進する冷酷な古代ローマ帝国軍)を描いている。チューバの不安げなソロからはじまり、次第に楽器が加わり、彼方から軍隊がやってきて美しい自然を蹂躪する光景が展開する。

### IV. 教会の鐘

グロスターの古いことわざ「As sure as God's in Gloucestershire」(神はグロスターシャーに宿られる)がモチーフ。それほどこの地には教会が多く、キリスト教布教の中心地であったことのとたえである。金属打楽器の響きに導かれ、多くの楽器が三連符を中心に教会の鐘を模倣する。この主題は(ディック・ウィットントン物語に登場する教会の鐘を思わせる)とあるが、これは、むかしからイギリスに伝わる民話のこと。いっせいに鳴る教会の鐘の音が「帰っておいでよ、ウィットントン、きっとロンドン市長になるよ」との呼びかけに聴こえるとの話である。(途中で鐘が鳴りやみ、静寂を経て、次の楽章へ)。

### V. 古い町：グロスター

イギリスの作曲家・詩人、アイヴァー・ガーニー(1890～1937)は、グロスターに生まれ、グロスター大聖堂の聖歌隊にいたこともある生粋の「グロスターっ子」で、この地にまつわる音楽や詩を多く遺した。そのなかに、グロスター周辺の小さな村や地名を徹底して礼賛する詩があり、それを音楽にしたのがこの楽章。「夜のウエストゲートからの素晴らしい眺めよ」「おお、メイズモアの愛しき道よ」「フレムロード、フランプトン、ダイモック、ミンスターワース…あなたたちは“全地球村”の名花です」と、具体的な地名をあげながら絶賛がつづく詩だ。

曲は、各地の“名所”をあらわすかのように、たくさんの細かいモチーフが絡み合いながら、(次第にマーチ風に変化するが、今度は堂々とした落ち着いた曲想)で、(nobilimente(気品をもって)の表現が思い浮かぶ)。壮大なクライマックスから、そのまま終章へなだれ込む。

### VI. 終章：パストラール(田園)

Iとおなじ(霧が晴れる)旋律が登場するが、今度は(最終部にふさわしい巨大な曲想となる)。さらに(「ローマ軍の行進」のような旋律も登場するが、今度は華やかな二長調で堂々と展開する)。終結部は壮大な「コッツウォルド」賛歌となって幕を閉じる。

デレク・ブルジョワ(1941～2017)は、イギリスの作曲家。たいへんな多作家として知られ、交響曲だけでも116曲書いている。管弦楽曲が中心だが、ブラズバンド作品で人気が高く、全英や欧州選手権大会の課題曲、自由曲も多く書いている。近年では《コンチェルト・グロッツ》《アポカリプス》《ブリッツ》《進退ここに極まりて》《悪魔と青い深海》などが取り上げられている。

吹奏楽作品では、オリジナルもあるが、管弦楽曲やブラズバンド曲からの改訂が多い。管弦楽曲では、本日の交響曲第6番のほか、第4番《ワイン・シンフォニー》、第8番《マヨルカ島の山々》なども吹奏楽版がある。 (敬称略)



# PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

## 東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。

2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する

日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、正指揮者に大井剛史、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、

首席客演指揮者に飯森範親、ポップス・ディレクターに藤野浩一を擁している。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、

ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し高い音楽芸術性を創出し、

多くの人々が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

# MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者 …… フレデリック・フェネル

正指揮者 …… 大井剛史

特別客演指揮者 …… トーマス・ザンデルリンク

首席客演指揮者 …… 飯森範親

ポップス・ディレクター …… 藤野浩一

指揮 …… 横山奏

演奏 …… 東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo …… 丸田悠太

Flutes …… 前田綾子、白石法久、

Oboes …… 宮村和宏<sup>\*</sup>、船津美雪

EnglishHorn …… 宮川真人

Bassoons …… 福井弘康、栗林愛理

Clarinet in E b …… 松生知子

Clarinet in B b …… 大浦綾子、林裕子、太田友香<sup>\*</sup>、

北岡羽衣、草野裕輝、須東裕基、

竹内未緒、鶴山まどか、徳武敦

AltoClarinet …… 瀧本千晶

BassClarinet …… 京谷麻里子

ContraBassClarinet …… 原浩介

SopranoSaxophone …… 林田祐和(AltoSaxophone)<sup>\*</sup>

AltoSaxophones …… 都築惇、神保佳祐(TenorSaxophone)

TenorSaxophone …… 中嶋紗也

BaritoneSaxophone …… 栃尾克樹

Trumpets …… 奥山泰三、ガルシア安藤真美子、

本間千也<sup>\*</sup>、河原史弥、金子美保、

富岡彩乃

Horns …… 上原宏、堀風翔<sup>\*</sup>、小助川大河、

齋藤麻衣、吉澤夏未

TenorTrombones …… 今村岳志<sup>\*</sup>、石村源海、笠間勇登

BassTrombone …… 佐藤敬一郎

Euphoniums …… 岩黒綾乃、齋藤充

Tubas …… 山岸明彦、島圭佑

Contrabass …… 前田芳彰

Timpani …… 坂本雄希

Percussion …… 渡辺壮、和田光世<sup>\*</sup>、安藤巴、

久米彩音、市東章代、

柴原誠、村居勲

Harp …… 神谷朝子

Piano …… 越田美和(Celesta)

※演奏委員

### コンサートマスター

林田祐和

### 役員

理事長 …… 勝川本久

常務理事 …… 八反田弘

専務理事 …… 堀風翔

監事 …… 清水宏一

### インスペクター

栃尾克樹

丸田悠太

今村岳志

### 事務局

事務局長 …… 勝川本久

事務局長次長 …… 堀風翔

事務局長補佐 …… 八反田弘

広報

尾崎真也

荻沼美帆(チケットサービス)

総務

佐原由起

岩崎友香(パーソナルマネージャー)

### 企画委員

原浩介

### 制作

篠原華

大橋証太(ステージマネージャー)

羽田紀子(ライブラリアン)

### 賛助会・サポーターズクラブ

荻沼美帆

尾崎真也

佐原由起

経理

水本孝枝

## 賛助会員

今後も音楽文化の発展に貢献する活動を行い豊かな社会を実現するため、趣旨にご賛同いただける多くの皆様からの継続的なご支援が必要です。賛助会へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円/1口	10,000円/1口	100,000円/1口
法人	100,000円/1口	300,000円/1口	1,000,000円/1口



詳細はこちら

※会員期間：会費納入翌月より1年間

お問い合わせ：東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX:03-5341-1255 MAIL:patronage@tkwo.jp

## 賛助会員の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。(2023年4月1日現在)

## 法人会員

特別会員	(株)佼成出版社	(株)ビルドエスアンドアール
維持会員	エーユーツーリスト((株)アコード)	名古屋 宗次ホール
賛助会員	アトリエ・エム株式会社	遠藤製作所 遠藤悦治
	海鮮食堂余市の仲間達	株式会社CAFUAレコード
	管楽器専門店ダク	株式会社サンテックピオズ
	鈴木住地(有)	株式会社全音楽譜出版社
	有限会社泰敬建設 代表取締役 阿部泰敬	立花産業(株)
	中央鉄鋼 有限会社	HANDYMANクボイ
	株式会社日乃本錠前	フォスターミュージック株式会社
	株式会社プリマ楽器	柳澤管楽器株式会社

匿名1名

## 個人会員

特別会員	アイちゃん	天野 正道	加賀 直樹
	加賀美 猛	菅野 泰正	田中 淳子
	初田 行央	林 正作	古沢 秀明
	ミーゴ	三浦 徹	山内 幸人

匿名8名

維持会員：197名 / 賛助会員：145名



## SUPPORTERS CLUB

## 東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

会員  
募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)を応援したい仲間が集まるファンクラブです。

TKWOをもっと身近で特別な存在に♪

サポーターズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう!



詳細はこちら

## PR Supporters PRサポーターの皆さま

敬称略で掲載させていただいております。(2023年4月1日現在)

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

## ▼店舗等一覧

アルル音楽教室  
(株)コマキ楽器 ジャパンパーカッションセンター  
ブレーン(株) 広島本社  
ブレーン(株) 東京支社  
(株)管楽器専門店ダク  
ミュージックスクール「ダ・カーポ」  
(株)セントラル楽器  
日本大学芸術学部音楽学科 江古田校舎  
管楽器雑貨専門店pitch  
ザクラリネット ショップ  
(株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京  
(株)永江楽器水戸  
野中貿易(株)  
(株)ヤマハミュージックリテイリング 横浜店  
宮地楽器 小金井店 ANNEX  
(株)池袋音楽学院  
(株)CAFUAレコード  
吹奏楽webマガジン「Band Power」  
吹奏楽専門店「Band Power」

大江戸シンフォニックウインドオーケストラ  
ドレミファクトリー  
フルーツ専門店 テオバルト  
アトリエ・エム株式会社  
イシバシ楽器 横浜店  
フォルテ・オクターヴハウス  
管楽器専門店ウィンズスタイル  
フォスターミュージック株式会社  
金管楽器修理調整 浅香工房  
葡萄房 by THE CAMEL  
やしろ食堂  
吹奏楽酒場「宝島。」  
金寿司  
フローリスト花六  
中華 大栴  
海鮮食堂余市  
おぐセンター

## ▼個人のお客様

渡邊 直子  
樫野 哲也

東京佼成ウインドオーケストラでは  
PRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただけませんか？ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。(個人も含む)ご協力いただける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。

好評発売中!

今年の吹奏楽課題曲を  
ライヴ収録!

佼成ウインドLIVE

2023年度 全日本吹奏楽コンクール  
課題曲

収録曲

2023年度 全日本吹奏楽コンクール課題曲

1. 行進曲「煌めきの朝」 牧野圭吾 (第32回朝日作曲賞)
2. ポロネーズとアリア ～吹奏楽のために～ 宮下秀樹
3. レトロ 天野正道 (委嘱作品)
4. マーチ「ベガサスの夢」 水口透

録音:2023年2月17日 府中の森芸術劇場 ドリーむホール ライヴ録音



CD ¥1,980 (税込)

Amazon  
会場で販売中



東京佼成ウインドオーケストラ

# 2023-24 Season Concert Schedule

会場: なかのZERO 大ホール

## 第162回 定期演奏会



2023年 9月8日[金] 開演19:00(開場18:15)

指揮 **飯森範親** Norichika Iimori (首席客演指揮者)

- アスファルト・カクテル/J.マッキー
- マンハッタン情景/J.ヴァンデルロースト
- イーストコーストの風景/N.ヘス
- 交響曲第2番「江戸の情景」/F.チェザリーニ

全席指定 5,000円/U25割引 2,500円  
会員先行:4月24日(月)/一般発売:5月1日(月)

## 第163回 定期演奏会



2024年 1月26日[金] 開演19:00(開場18:15)

指揮 **大井剛史** Takeshi Ooi (正指揮者)

- 大井剛史・TKWO共同委嘱作品(世界初演)/福丸光詩
- アスパイア(日本初演)/J.ヒグドン
- 金管楽器と打楽器のための交響曲/A.リード
- 交響曲第5番「さくら」/A.リード
- 科戸の鶴巢 一吹奏楽のための祝典序曲《Edition TKWO》/中橋愛生

全席指定 5,000円/U25割引 2,500円 発売日調整中



## “Bach for Professional”

バックを手にするよろこび。それは品位、伝統、風格。

MADE IN THE USA



奥山 泰三  
AB190GL

本間 千也  
AB190GBSP

TOKYO **KOSEI WIND** ORCHESTRA

東京佼成ウインドオーケストラ

ガルシア 安藤 真美子  
180ML37SP

河原 史弥  
180ML37SP

PHOTO by Masanori DOI

**NONAKA**

いい楽器をあなたのもとへ

総発売元 株式会社ノナカ 総輸入元/製造元 野中貿易株式会社 231-0011 横浜市中区太田町4-46 www.nonaka.com



※全席指定・税込 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。※出演者、曲目、時間等は変更になる場合がございます。



自由に羽ばたく、  
極上の音色。



*Custom*  
SAXOPHONES  
**875EX / 875**

サクソフォン  
製品情報はこちら



お問い合わせ 株式会社ヤマハミュージックジャパン  
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11  
お客様コミュニケーションセンター管弦打ご相談窓口  
ナビダイヤル: 0570-013-808  
つながらない場合は053-411-4744へおかけください。  
受付時間: 月~金 10:00-17:00  
(土曜・日曜・祝日・センター指定休日を除く)

ヤマハ管楽器  
安心アフターサポート

※申込期間は、ご購入~1ヶ月以内



詳細はこちら

株式会社ヤマハミュージックジャパン

主催

一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

共催

なかのZERO指定管理者

助成



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

後援

一般社団法人全日本吹奏楽連盟

東京都吹奏楽連盟

公益社団法人日本吹奏楽指導者協会

公益財団法人日本音楽教育文化振興会

一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

一般社団法人日本吹奏楽普及協会

日本コロムビア株式会社

株式会社テレビマンユニオン

<https://www.tkwo.jp/>

